



高麗中学校だより

日和田

令和6年10月号

文責：利根川典正

厳しい残暑が少しずつ和らぎ、高麗を彩る曼珠沙華がきれいに咲く季節となりました。

2学期が始まって、はや1ヶ月。今学期たくさんの行事がある中で、毎日高麗中生は躍動しています。現在は10月5日（土）に予定している体育祭の準備・練習が盛んに行われています。体育祭当日は、高麗中生みんなで大いに盛り上がることと思います。また新たな『ミラクル』も起きることが期待でき、楽しみです。

夏休みを含め、部活動の大会やコンクールに高麗中生は参加しています。私は応援に行く度に思うことは、高麗中生だけでなく「中学生はすごいな～」と強く感じています。技術だけでなく、努力を重ねてきた成果を発揮しようとする集中力や気迫は、見る者を魅了する力があり、圧倒されてしまいます。それだけ惹きつける力があるだけでなく、限りない可能性を秘めているんだなとも感じます。

全校集会の校長講話では毎回生徒には『先生たちはみんなを全力で応援する』と伝えています。これからも高麗生には、自分を大切にし、自分なりのペースで成長してくれたらと願っています。

進路・キャリア教育～自分を見つける・自分を知る～

本校においても進路・キャリア教育を計画的に実施していますが、各学年においても特色ある活動が計画的に実施しております。1年生は職場体験におけた活動、2年生は立志式におけた活動、3年生は進路に向けた活動（面接練習）です。いつも笑顔で活動する姿が多いのですが、真剣な表情で取り組む姿が多くみられました。例えば、2年生立志式に向けた原稿づくりは学習用タブレット端末で作成しています。その原稿を横で見ると将来の自分に想いを馳せ、「〇〇になりたい」「〇〇がしたい」と書かれていました。

これからも『自分を見つける、自分を知る』活動を大切にしていきたいと考えております。



高麗中日記～子供たちの様子を伝えていきます。

毎朝、体育祭に向け自主的に除草作業や整備をしてくれる先生や生徒がいます。誰かが指示した訳でもなく、自主的に集まり始まります。また、授業の合間を見て黙々と除草する先生もいたり、昼休み除草する生徒がいたり自分なりのやり方で取り組んでくれています。この光景を見ると毎回『高麗中が愛される・大切にされる』理由が凝縮されていると感じています。

高麗中のために「できることを、できるときに、できる人が」という強い想いを持って行動する生徒や先生、高麗中の誇りです。すごいぞ！高麗中